



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

6/15(月) 5・6校時 3年生「総合学習」

MSENを招き 「環境学習」を実施

6/15(月)、5・6校時に3年生の総合的な学習の時間で「環境学習」を行いました。内容は「与那覇湾のマングローブ」についてです。

学習のねらいは、「①身近にある与那覇湾の環境を学び、マングローブ干潟や藻場を保全する【自己調整力】」「②マングローブ周辺の生きものを観察し、それぞれの生態系での役割を考える【主体性】【協働力】」でした。

当日は天気が悪かったため、与那覇湾での視察を断念。学校での実施となりました(ここからは、仲原特派員にまとめてもらった内容を紹介します)。

6月15日(月)、3年生は総合的な学習の時間に「マングローブ観察プロジェクト」を実施しました。当日は雨天のため、予定していた川満漁港での屋外観察は中止となりましたが、「NPO法人『宮古島 海の環境ネットワーク(MSEN)』」の皆様を講師に迎え、多目的教室にて工夫を凝らした環境学習を行いました。



与那覇湾はマングローブが自生し、カニなどの多様な生き物の住处として豊かな生態系を育んでいます。その価値が認められ、2011年には「国指定鳥獣保護区特別保護地区」に指定、さらに2012年には国際的に重要な湿地として「ラムサール条約」に登録されました。生徒たちは、身近な海が世界的に守るべき宝物であることを改めて学び、誇らしげな

表情を浮かべていました。

「マングローブ」とは特定の植物の名前ではなく、淡水と海水が混ざり合う汽水域に生える植物の総称です。宮古島には「ヤエヤマヒルギ」「ヒルギダマシ」「オヒルギ」「メヒルギ」の4種類が自生しています。生徒たちは、潮が満ちても呼吸ができる独特な根の形や、海水をろ過したり葉から塩分を排出したりする仕組み、さらに種が親木で成長してから落ちる「胎生種子(たいせいしゅし)」という子孫の残し方など、厳しい環境で生き抜くための驚くべき戦略について熱心に耳を傾けていました。



後半は、5～6人のグループに分かれてボードゲームに挑戦しました。4種類のマングローブカードや、自然災害・人的被害といったイベントカードを使い、陣取り形式で知識を深めていきました。ゲームを通じ、生徒たちからは「マングローブが減る原因」や「他の生き物との関わり」、そして「自分たちに何ができるか」といった前向きな感想が多く聞かれました。

今回の学習は、地域の自然環境を「自分事」として捉え、未来へ守り伝えていくための第一歩となりました。ご協力いただいた講師の皆様、ありがとうございました。

仲原特派員、ありがとうございました。今回は現地に行けず「雨天時プログラム」の実施となりました。本プログラムは、次の流れで行われました。

- ① 身近なマングローブ環境に興味を持つ
- ② 与那覇湾の環境の特徴について自ら考えることでその大切さを確認する
- ③ マングローブの特徴を学ぶ
- ④ ゲームをしながら楽しく学ぶ
- ⑤ 自然環境の変化、周囲の環境とマングローブの生育にどのような関係があるのかを学ぶ

※②に続きます。

6/15(月)5・6校時 3年生「総合学習」

MSENを招き「環境学習」を実施

①の続き「MSENを招き『環境学習』を実施」を紹介します。

HP掲載内容を紹介します。

<https://econet.jpn.org/>

6月15日 下地中学校 出前授業 報告

投稿者: 事務局に 教育事業 島内向け環境学習プログラム報告 投稿日: 2026年6月15日

00



6月15日(月)、下地中学校3年生の総合の授業で、与那覇湾やマングローブ域の環境を学ぶ環境教育プログラムを実施し、無事終了いたしました事を報告させていただきます。

下地中学校は、豊かな生態系を誇る与那覇湾が近くにあることから、3年生の地域の環境を学ぶ科目として、宮古島海の環境ネットワークの環境学習プログラムを実施しています。今回で12回目となります。

今日は時折強い雨が降る天候だったので、室内においてのマングローブのボードゲームに切り替えました。ゲームを通じて、マングローブが他の生きものの影響を受けて成長をすることや、人間活動によってダメージを受けることを学んだと思います。

豊かな与那覇湾の環境を守るために何をすべきか、ということに対して、ごみのポイ捨てをしない、ごみ拾いをする、生活排水を少なくする、など具体的な意見がでたのはよかったと思います。

身近で豊かな与那覇湾やマングローブ域の大切さを感じてもらえたら嬉しいです。

MSEN 特定非営利活動(NPO)法人
宮古島 海の環境ネットワーク

宮古島の海を守り 次の世代まで、 この海を残したい！

宮古島の海を中心とした自然環境を守るため「海岸清掃」「海洋調査」「環境教育」に取り組んでいます。

ボランティア海岸清掃への参加は、海のゴミを減らすために行動するきっかけになります。

海洋調査ではデータを収集、発信することで、問題解決のために何をすべきか考えることができます。

環境学習プログラムの体験は、発見や気づき、学びを通して自分に何ができるのかを考えます。



- ① サンゴをふまないで！
- ② ゴミは持ち帰ろう！
- ③ えさをあげないで！
- ④ 生き物をとらないで！

「宮古島の海を守る4つのお願い(下の画像)」を忘れず、すぐに関行に移し、宮古島(沖縄・日本・世界)のよりよい自然環境を残していきましょう！

宮古島の海を守る4つのお願い



サンゴをふまないで！

サンゴは生き物。しかも多くの生き物の「うち」です。



ゴミは持ち帰ろう！

海に漂うプラスチックの破片が問題になっています。



えさをあげないで！

海の自然のバランスをくずしてしまいます。



生き物をとらないで！

サンゴに魚、ヤドカリも？海には貴重な生き物が多く、獲ると罰せられます。



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしゅう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

6/11(火) 3年生の給食

「琉球漆器」で給食楽しむ

6/11(火) 3年生の給食では、下地調理場の計らいで「琉球漆器を使用した給食提供」がありました(下地小6年は6/9(火)。献立も違います)。

この取組の目的は、「沖縄の食文化について知る」ことで、具体的には、「琉球漆器や郷土料理について知る」「琉球漆器について知る」「琉球漆器を使って給食を食べることで、食文化についての実体験を行う」でした。



献立は、「イナムドゥチ、クープイリチー、ミヌダル、むぎごはん、牛乳」でした。琉球漆器を使うと、見栄えも高級感が増して、お馴染みの味でも、より美

味しく感じられました。

保健・給食専門委員会の3年生から感想をいただいたので紹介します。

【3年A組】

- 琉球漆器で給食を食べて、いつもとちがう雰囲気いいなーと思いました。(下地莉依菜)
- 琉球漆器で給食を食べてみて、いつもとさわり心地も違うし、お皿の色も違うし、琉球を感じることもできたので良かったです。(川平結葵)

【3年B組】

- いつも食べている献立だったけど、琉球漆器に変わるだけで味も変わった気がしたし、高級感を味わうことができました。(長間結愛)
 - 琉球漆器は器が光っていて、とても美味しく見えました。実際に食べてみても美味しかったです。(島尻凜花)
 - 琉球漆器で食べる給食は、いつもより高級な感じがして、(いつもおいしいけど)いつもよりさらにおいしく感じました。(下地果実)
- 宮古毎日新聞社HP掲載記事を紹介します。

琉球漆器で給食楽しむ

下地中3年生

栄養職員が特徴など説明

下地中学校3年生は11日、琉球漆器を使った給食を体験した。下地学校給食調理場栄養職員の武井給理さんが琉球漆器の特徴や製作工程などを説明。生徒たちは説明を聞きながら、普段と違う器に、「豪華に見える」などと会話を弾ませ給食を楽しんだ。



<https://www.miyakomainichi.com/news/news-192106/>

6/16(火)学期に一度、恒例の

『台湾国際交流』に因んだ給食

引き続き、給食に関する記事です。みだしの『台湾国際交流』に因んだ給食です。こちらも、下地調理場の計らいで学期に一回、提供されます。



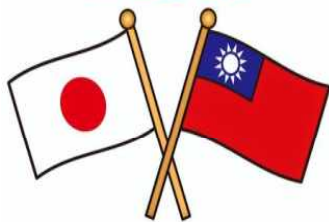
本年度第1回は、6/16(火)でした。もちろん、台湾国際交流員である羽地芳子さんを招待しての実施(3年A組での招待給食)でした。

献立は、画像の通りです。手前左が「牛肉麺(ニュウロウメン)」、そして右が「魯白菜(ルーパイツイアイ)」、奥右のスイーツが「雪Q餅(シェークュービン)」です(牛乳は、ニュウナイだそうです)。

こちらも保健・給食専門委員会の皆さんから感想をいただいたので紹介します。

【1年生】

- 雪Q餅がクッキーみたいでおいしかったです。牛肉麺は、たくさん肉が入っていておいしかったです(洲鎌子福)
- この給食を食べて、台湾の食文化について知れました。シェークュービンというデザートがおいしかったです。全部おいしかったので、また食べたいです(平良陽奈音)
- 雪Q餅がクッキーみたいでおいしかったです。牛肉麺は、お肉がやわらかくておいしかったです。(田中七菜)

台日交流

で、食べることができてうれしかったです。(上地寿愛)

- デザートがおいしかったです。牛肉麺は、思っていたものと違って、麺がやわらかくておいしかったです。(下地由莉)

【2年生】

- 初めて食べた牛肉麺は、麺がもちもちしていて独特な味がしました。雪Q餅もおいしかったです。(新垣遥翔)

【3年生】

- 台湾給食は全体的に食べたことのない味で、不思議な感じがしました。ルーパイツイアイは、エビの味が濃くておいしかったです。(下地果実)
- 台湾給食は、普段食べている味と違って、新感覚でした。一番おいしかったのは、シェークュービンです。(長間結愛)
- 今回の台湾給食のメニューも、初めて食べるもので、新鮮な感覚でした。どれもおいしかったです!(島尻凜花)

今回の「台湾国際交流に因んだ給食メニュー」は、美味しく楽しめたようですね。いつも美味しい給食を提供していただいている下地調理場の皆さんに、お礼を言いましょう。次回は、2学期です。10月を予定しています。楽しみです。

【お知らせ】**「台湾国際交流事業」について**

現在、参加者に対する「台湾語講座」や保護者を交えた「説明会①②」を行っています。

また、2年に1度の台湾国際交流団の受け入れに関して、PTAや地域の皆様の巻き込み、盛大なおもてなしをしたいと思います。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(1) 台湾からの国際交流団受け入れ日程

7/3(金) 11:00 下地島空港迎え
11:30 宮古島市長表敬
12:15 下地中学校着、給食
13:30 歓迎式典
18:00 学校・PTA主催歓迎会
20:00 各ホームステイ先へ

7/4(土) 08:30 学校集合

交流生徒との島内観光

宮古TV「あがんにゃ」出演

7/5(日) 終日ホームステイ先での行動

7/6(月) 08:30 お別れ交流会
10:30 下地中学校出発
12:15 宮古空港見送り

☆全校生徒での関わりは7/3と7/6です。

(2) 下地中学校からの国際交流団派遣

8/14(金)~19(水)の5泊6日

☆姉妹都市の基隆市長の表敬を予定



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

【知】自ら学ぶ意欲を持つ生徒

【徳】豊かな心を持つ生徒

【体】健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

6/20(土) 第5回 宮古地区中学校
英語パフォーマンスコンテスト

プレゼンテーション部門で
「最優秀賞」に輝く!

6/20(土) 未来創造センター多目的ホールで
開催された「第5回宮古地区中学校英語パフォーマンス
コンテスト」では、プレゼンテーション部門に
出場した本校3年生(上地寿奈さん、川満花菜さん、
川満香綸さん、仲里奏さんの4名)が、見事「最優
秀賞」に輝きました!



プレゼンテーションのタイトルは、「宮古島をゴミ箱にはさせない! Miyakojima City IS NOT Trash Can!」でした。

大会への抱負では、「私たちが伝えたいゴミ問題について、観客の皆さんに分かりやすく知ってもらえるように発言を工夫して頑張ります。ゴミを減らすために何ができることはあるかな?と考えてもらえるように伝えます。」と述べ、本番では見事なプレゼンテーションを行いました。

各部門の「最優秀賞」は、次の通りです。

【スピーチの部】長嶺海咲さん(平良中3年)
「不完全なる勇氣 ～私の新しい英語の旅～」
The Courage to Be Imperfect
:My New Journey with English

【スキットの部】

勝連羽音さん、川満ひらりさん、下地美央香さん、
平良季依奈さん、渡真利心愛さん、久貝穂夏さん
(上野中2年)

「島の自然を守る」

Protecting Our Island's Nature

6/20(土) 第25回 宮古地区
管・打楽器コンテスト 吹奏楽部門

中学校の部Bパートで
吹奏楽部が「金賞」に輝く!

6/20(土) マティダ市民劇場で開催された「第
25回宮古地区管・打楽器コンテスト」では、本校吹
奏楽部がBパートで出場しました。厳正なる審査の結
果、「金賞」に輝きました!



出場したメンバーは、次の通りです。

【3年】仲里心菜さん、奥平絢音さん、羽地愛美さん、
下地仁衣乃さん、盛島小百合さん、平良星姫さん
【2年】仲地愛良さん
【1年】上地沙奈さん、上地好華さん、池城莉緒奈さん、
平良陽奈音さん、豊見山愛海さん

同日6/20(土) 午後、市民球場で行われた宮古地区中体連夏季総体軟式野球競技、最終戦の「平良vs北・西辺」が行われ、平良が勝利しました。この結果を受け、合同チーム「宮古」の県大会出場が決まりました! おめでとうございます!

6/18(木)「慰霊の日」を前に

「平和の礎(いしじ)」刻銘の 宮古関係者読み上げ

6/18(木) 3～4校時の時間にかけて、「慰霊の日」に因んだ平和学習の一環として、「平和の礎(いしじ)」に刻銘されている宮古関係者の読み上げを全校生徒で行いました。

ここからは、6/20(土)掲載の宮古毎日新聞記事を引用いたします(画像は異なります)。

教室に響く戦没者の名

「平和の礎」宮古の刻銘

下地中学生徒が読み上げ

沖縄戦の犠牲者を追悼する「慰霊の日」を前に、下地中学校(崎山用彰校長)の全校生徒124人は18日、同校で平和祈念公園(糸満市)の「平和の礎(いしじ)」に刻銘されている宮古関係者の名前を亡くなった年齢とともに読み上げた。生徒たちは戦没者に思いをはせながら、平和の尊さを発信した。

この取り組みは沖縄、全国、世界各地の参加者の地域の会場とオンラインで結び、戦没者の名前の読み上げを通して、平和を発信することを目的としている。

この日は、生徒たちが「平和の礎」に刻銘されている宮古関係者3293人のうち、1500人の名前を読み上げた。残りの分は上野中学校と久松中学校が読み上げることになっている。



宮國瑠暉さん(1年)は「戦争当時は集団自決などで、自分と同年齢の子どもたちが亡くなっている。二度と繰り返してはいけないと思う」、友利光李さん(同)は「戦争は悲劇でつらいこと。戦没者を供養して平和な

世の中につなげていきたい」とそれぞれ話した。

沖縄戦では、90日に及ぶ悲惨な地上戦で20万人あまりの尊い命が失われた。その悲劇を繰り返さないことを誓って「平和の礎」には、亡くなった人の名前が国籍や、軍人、民間人の区別なく刻まれている。

この取り組みは、今回が初めてでした。振り返りとして、「実際に宮古島の先人たちの名前を声に出し、耳で聴いた時、どのような感情がわきあがりましたか？」への回答(2・3年生)を紹介します。

【2年生】

- とても虚しい気持ちが湧き上がりました(遥翔)
- 戦争って本当に怖いなあって思いました(怜音)
- 国のために戦争に行ってくれてありがとう(叶夢)
- 宮古島のためにありがとうという気持ちと、亡くなってしまったことへの悲しい感情(健士郎)
- 苦しくなった。戦争がなかったら、この人たちは平和な人生を送ってたんだろうなと思った(璃音)
- 私たちのために戦ってくれて、宮古島を守ってくれてありがとうという感情(優花)
- 勝手に戦争に巻き込まれて可哀想だなと思った(颯佑)
- 「何でこんなに若い子どもたちまで死ななくちゃいけないかったんだ」「もう絶対に戦争なんてしちゃだめだ」(青葉)

【3年生】

- 本当に戦争は良くないなと思った(龍之介)
- 悲しい、可哀想(仁衣乃)
- 戦争で多くの人が亡くなって、戦争が本当に恐ろしいものだとして改めて知った(璃子)
- 戦争は絶対にだめだということ(絢音)
- 同じ苗字の人がいたり、年齢が幼い子どももいて、家族で亡くなったり、まだ小さな子どもも殺した戦争は恐ろしくて、二度としてはいけないということ(小百合)
- 苦しかったんだろうなって、いたたまれない気持ちになった(和月)

【お知らせ】

明日から7月に入ります。

「7月の生活目標」を確認しましょう。

事故防止に努めよう

- ☆交通ルールを守り、安全を心がけよう！
- ☆危険な場所には、絶対に立ち入らないようにしましょう！





となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

6/28(日)午前

オープンスクール

6/28(日)午前、予定通り「オープンスクール」を行いました。

ねらいは、「①地域に開かれた学校として、本校の教育実践について理解を深める機会とする」「②生徒の主体性・協働性・自己調整力などの資質・能力を育成する機会とする」です。

今回のオープンスクールも、「お弁当」づくりがあるので8:45登校としました。1～3校時は人司先生による「学年道徳」を多目的教室で行いました。



1校時は1学年、2校時は2学年、3校時は3学年。内容は平和週間に因んだ特設授業で、「つなぐ、つながる(映像資料)」を教材に使って行いました。

授業のねらいは、「沖縄戦に鉄血勤皇隊として動員された元少年兵と戦場を避けながら逃げ込んだガマで我が子を餓死させてしまった母親の体験と二人の判断について考えることを通して、当時の社会(教育)や雰囲気によ

って、正しいと思うことを行動に移すことが難しい時代であったことを理解し、生き残った「負い目」を抱えながらも、戦争の悲惨さと愚かさを丁寧に学び後世に伝え、つないでいくことが生き残った(生きかされた)者の使命なのだということに気づき、日常生活の中で他者と連携協働し、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする道徳的実践意欲と態度を育てる」でした。



「平和な社会を築くために大切なことは、どんなことだろうか?」というテーマに迫るために、個人で考え、他者と対話しながら皆で考えを広げ、深めていきました。この授業を通して、今年度までの文科省指定の道徳研究校としての取り組みを知ってもらう良い機会となりました。人司先生、大変お疲れ様でした。

4校時は、宮古島警察署の佐久田泰彦さんを招いて、PTA校外指導部主催の「サイバー犯罪・薬物乱用防止教室」を多目的教室で行いました。

30人ぐらいの保護者に参加していただき、身近に迫る危険な誘惑から子ども達をどう守るか、共通確認をすることができました。司会進行をしていただいた丸田さん、お礼のことばを述べてくれた友利PTA会長、ありがとうございました。



オープンスクールの休み時間には、『ちっち商会(友利新太郎社長)』によるとなんマグネット販売がありました。1個150円という格安で提供され、売れ行きも好調だったようです。

デザインは浜比嘉美織さんが担当してくれました。

次は「台湾国際交流バージョン」も依頼し、作成してもらっています!



6/28(日)「お弁当コンテスト」

「エントリー賞」を授与

お昼の楽しみは「お弁当」ですね。

今回、保健給食専門委員会主催の「お弁当コンテスト」が催されました。事前エントリーでは、5名しか集まらなかったこともあり、全員に「エントリー賞」を授与することになりました。

エントリー賞を受賞した皆さんは、次の通り。



【1年A組】

☆川満桜蘭々さん

☆田中七菜さん

【2年A組】

☆岸本健士郎さん

☆仲間颯佑さん

【3年B組】☆川満花菜さん

おめでとうございます。

次のコンテストは、運動会で開催できるといいですね(私も「お弁当」作ってきました)！

6/28(日) お弁当を食べた後は……

「学級・学年PTA対抗ソフトバレーボール大会」

6/28(日) 午後は、「学級・学年PTA対抗ソフトバレーボール大会」を開催しました。

「A・B」2つのブロックに分かれてのリーグ戦で行いました。試合は各チーム2試合できるよう、4試合行われました。対戦は次の通り。

【Aブロック】

①1年A組 vs 1年PTA

②2年A組 vs 3年A組

③1年PTA vs 2年A組

④1年A組 vs 3年A組



【Bブロック】

①2年PTA vs 3年PTA

②1年B組 vs 3年B組

③2年PTA vs 1年B組

④3年PTA vs 3年B組



生徒たちは慣れないソフトバレーボールに苦戦したのか、珍プレー連発でした。大会を7月に控えたPTAチームに圧倒される結果となりました。

各ブロック優勝は、次の通り。

【Aブロック】☆1年PTA

【Bブロック】☆2年PTA

本大会は、7月5日(日)開催の「単位PTA対抗ソフトバレーボール大会」の選手選考を兼ねて行われました。選手に選ばれた皆さんは、大会本番への参加も、よろしく願います。



【お知らせ】

「期末テスト」も終わりました。読書も忘れずに取り組みましょう。2階の特集コーナーは「戦争と平和について考えよう」です。





となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

**よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成**

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰



☆「QRコード」はデンソーウェブの
登録商標です(下地中学校HPへ)

6/28(日)

**オープンスクール、お弁当タイム
学年・学級PTA対抗ソフトバレー大会を終えて**

6/28(日)に開催した「オープンスクール、お弁当タイム、学級・学年PTA対抗ソフトバレーボール大会」の振り返りをまとめてもらいましたので、学級別に紹介します。

【1年A組】

○バレーは1勝して楽しかった。中学初めてのお弁当は美味しかった。(榮人)

○戦争の悲惨さ、平和の大切さについて改めて気付くことができた。バレーは楽しかった。(苺華)

○みんなとお弁当見せ合って食べたのが楽しかったから、またやってほしいと思った。(楓太)

○道徳授業では平和や命の大切さを学びました。お弁当はみんなで食べると美味しかったです。親子レクは、チームで協力できて楽しかったです。(桜蘭々)

○オープンスクールは初めてで、思ったことは、お弁当の時が一番楽しくて、道徳では戦争はいけないう事だとわかったし、二度と繰り返してはいけない事を考えました。レクではみんな楽しそうだったし、盛り上がっていたので良かったです。(琴音)

○初めてのオープンスクールで緊張したけど、楽しかったです。中学校では遠足がないので、久しぶりのお弁当を食べて嬉しかったし、美味しかったです。道徳では戦争について学習して、いろんなことが学びました。楽しかったです。(陽奈音)

○初めてのオープンスクールで緊張していましたが、とても楽しかったです。少し遠足気分が特別な感じがしました。道徳では戦争について学習して、戦争がどんなものだったのか理解できました。オープンスクールは初めてだったけど、いつもと違って良いと思いました。(好華)

○道徳は改めて命の尊さが分かった。お弁当タイムではみんなでのお弁当を見せあいっこして、お母さんの大変さも分かった。ソフトバレーは、みんなで協力することができて、楽しかった。(七菜)

【1年B組】

○親子レクでソフトバレーボールをやって、2回とも負けたけど、いい勝負ができたので楽しかった。(富)

○ソフトバレーじゃなくて普通のバレーがやりたかったです。お弁当コンテストに出てた人の弁当がすごかったです。道徳では戦争のことを学べて良かったです。(寿愛)

○お弁当がおいしかったです。道徳授業では戦争のことを学んで、戦争の悲惨さを改めて知ることができました。(沙奈)

○道徳授業では、戦争について学びました。お弁当は友だちと美味しく食べました。親子レクでは、チームで協力できて楽しかったです。(瑞紀)

○バレーが難しかった。お弁当タイムでは友だちとグループになって食べたのが楽しかった。(美空)

○初めてのオープンスクールをやって、みんなでお弁当を持ってきたみんなで食べたことが楽しかった。(由莉)

○みんなで食べたお弁当が美味しかったです。ソフトバレーボール大会では、あんまりボールが取れなかったけど、サーブが打てて良かったです。(かのん)

○お弁当コンテストでは、みんなのお弁当が見れて良かった。ソフトバレーは友だちと協力してやったり、相手のプレーを見たりするのが楽しかった。(愛海)

○親子レクは全敗して悔しかったけど、お弁当をみんなでおいしく食べて楽しかった。(光李)

【2年A組】

○簡単に弁当をつくる方法を覚えることができた。ソフトバレーボール大会は、試合の回数を3試合に増やして欲しかった。(陸永)

○初めてオープンスクールに参加しました。特にお弁当の時間が楽しかったです。みんなの個性が出たお弁当だったので、見せ合うのも楽しかったです。ソフトバレーボール大会も楽しかったです。(琉空)

○オープンスクールでは道徳の時間に戦争の時の気持ちを深く考えることができた。お弁当はみんなと食べて、とても楽しかった。ソフトバレーはそんなに勝てなかったけど、みんなとできて楽しかった。(慶悟)

※②に続きます。

6/28(日)

オープンスクール、お弁当タイム
学年・学級PTA対抗ソフトバレー大会を終えて

※「振り返り」の続き【2年A組】

【2年A組】

○道徳授業の時に見た動画やコメントなどを見たり聞いたりして思ったことは、沖縄戦の残酷さなどを更に深く知れたことがありました。お弁当も美味しく食べて、午後のソフトバレーボール大会も楽しく、充実した1日になりました。(遥翔)

○道徳の授業で自分の意見をしっかりと saying いるところを親に見てもらえた。(璃音)

○朝早く起きてお弁当を作って楽しかったです。美味しく出来て良かった。道徳の授業では、終戦後のインタビューの音声で当時の辛さが伝わってきました。(来弥)



○道徳の授業では、戦争のことについていろいろ知れた。お弁当は自分で作って楽しかった。友だちと見せ合いながら一緒にお弁当を食べて、楽しかった。(琉杏)

○道徳授業では改めて戦争の大変さを知ることができた。お弁当は、いつも料理をしてくれている両親やおばあの大変さを分かることができた。親子レクでは、2年PTAと戦えなくて残念だったけど、楽しかったです。(愛梨)

○道徳の授業でまた平和に近づくことができたと思う。(新太郎)

○お弁当コンテストでエントリーしたけど、参加者が少なくてエントリー賞をもらえました。賞品はお米券とあめ玉でした。朝早く起きてお弁当を作った甲斐がありました。味もおいしかったです。バレーもすごい接戦でおもしろかったです。(颯祐)



○道徳では沖縄戦についてよく知れました。もうくりかえさないでほしいです。お弁当は起きるのが遅くて作れなかったけど、おいしく食べました。バレーはやってないけど、見るだけで楽しめました。2年PTAおめでとう。(優心)

(優心)

○親の前で空手をやるのは恥ずかしかったけど、練習の時よりも上手にできました。ソフトバレーボール大会もめっちゃ楽しかったです。お弁当もおいしかったです。(玲愛)



【3年A組】

○道徳の授業では、戦争について考え、二度とこのようなことはしてはいけないと思いました。親子レクは、みんなと力を合わせて勝つことができたので良かったです。(鯛市)

○道徳では戦争の悲しみや辛さがわかりました。ソフトバレーボールでは、いつもとボールが違って、むずかしかったです。(仁衣乃)

○道徳の授業で沖縄戦のことを詳しく知ることができたし、考えることができた。(紀華)

○道徳では戦争・平和についてたくさん考えられました。お弁当も自分で作れたし、美味しかったです。バレーも応援できて楽しかったです。(絢音)

○道徳の授業では、改めて戦争の過酷さ、悲惨さについて学びました。もう二度と戦争を起こしてはならないと思いました。みんなのお弁当、とてもおいしそうだった。(龍之介)

○親の前で授業を受けるのは緊張したけど、みんなでお弁当を食べるのが遠足みたいで楽しかったです。(小百合)

○道徳の授業で話したことを家でも親と話せて、普段あまり話せない話題だったのでよかったです。お弁当も自分で作ったり、普段と違って新鮮で楽しかったです。(心和)

【3年B組】

○道徳の授業で戦争の被害の大きさに驚愕した。やっぱり戦争ほど醜いものはないと思った。(颯亮)

○道徳の授業を真剣に受けて、お母さんにちゃんとしているところを見せられたと思います。国語の句会でも「特選」が取れてうれしかったです。(奏)

○道徳の授業で、沖縄戦・平和について学べて良かったです。これからも平和についてしっかり考えようと思いました。(香綸)

○保護者がバレー強かった。親の偉大さを知った。お弁当はみんな美味しそうだった。食べてみたいと思った。(和月)

○親子レクのソフトバレーボールでは、3年B組の全員で力を合わせて戦って、結果ではなく力を合わせることの大切さに気付くことができた。(元隆)

○道徳ではりゅうちゃんさんの話とかを聞いて、さらに戦争の恐ろしさについて知ることができた。お弁当を久しぶりに作って楽しかった。ソフトバレーでは点を決めることができて良かった。(琉太郎)



○友だちと食べる弁当も久しぶりでめっちゃ楽しかった。ソフトバレーボールでは、3年PTAがあまりにも強すぎてびっくりした。(愛美)

☆「オープンスクール × お弁当タイム × 学級・学年PTA対抗ソフトバレーボール大会」は、楽しく過ごせた1日でしたね！